

# えじり

No.156

平成28年3月15日発行

発行：静岡市立清水江尻小学校PTA

編集：PTA広報委員会

印刷：(有)サカエ印刷



## 10月22日給食試食会

栄養士の天野先生のお話の後  
子どもたちの教室を視察しました。  
元気に明るい給食の時間、  
静岡おでんを美味しくおい  
食べていました。  
給食は子どもたちの活動源。  
給食提供に携わるすべての方に  
感謝します。



# すべては子どもたちのために、

情熱を育みへ  
コミュニティ・スクール江尻

11月14日 音楽発表会 ☆PTA 歌のプレゼント☆  
運営委員会では、T シャツづくり、被り物、楽器など知恵や  
工夫を凝らして皆が一丸となり準備しました。夜 7:30 ~  
の二回の練習では、歌や振り付けなど覚える事が多くありま  
したが、参加者全員で本番を楽しめました。「文化祭のよう  
だったね。」と振り返り、胸にほっこりと温かいものを感じ  
ました。

10月18日江尻まつり  
先生方による江尻太鼓、6年1組の  
写真展示、江尻児童クラブによるけん  
玉ダンスを披露



9月19日江尻地区敬老会  
6年生・合奏を披露



9月24日~9月26日  
江尻交流館にて



### コミュニティ・スクール江尻のボランティア活動

あなたの参加をお待ちしています!



CS 研究発表会にご来場の方にお花のプレゼントを作成

今年度は、みなさんにも楽しんでいただける活動ができた二年だったと思います。徳川四百年祭の花苗無料配布があり、いつもより華やかな花壇を作ることができました。毎年恒例の子どもたちと一緒に育てたサツマイモはさつまいも汁にして、給食で食べさせていただきました。バザーでも、植え付け体験という形で、たくさんの方にフラワーボランティアの活動に参加していただきました。来年度の活動もお楽しみに!

#### フラワーボランティア

代表 海野妙子

「さわやか読書」のあった日に、「今日読んでくれた○○○○○という絵本を読みたい(借りたい)のですが、図書室にありますか?」と図書室に足を運んでくれる子がいる等の話を聞くと、とても幸せな気持ちになります。私たち読み聞かせメンバーは、選書する時、季節のものや学校行事、授業で学んでいることに関連した本、是非、子どもたちに届けたい絵本等々、それぞれ思いを込めています。「子どもたちの心の片隅に残ってくれたらいいな」と思っています。この絵本をきっかけに読書好きの子が増えたら更に嬉しいです。

#### さわやか読書

代表 佐藤智子



単に、コミュニティ・スクールだから・・・という枠ありきではなく、今後子ども本位で物事を考え、地域全体で温かく子どもたちを見守り続けるPTAでありたいと思っています。



「平成二十七年を終えて」清水江尻小学校PTA会長 杉山智之  
日ごろからPTA活動へのご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。今年度は会長という立場に立たせていただいていたいて、嬉しいと感じることがいくつかありました。まず、「スギトモさん」と呼んでもらうようにお願いした子どもたちが、顔を合わせると嬉しそうに挨拶をしてくれるようになったこと。もともと江尻っ子には素直な子どもが多いですが、以前は恥ずかしくて目を合わせることもできなかった子どもたちも、元気に名前を呼んでくれるようになりました。そうすると、私の方から子どもたちの様子が気になるようになり、自然と皆に声を掛けるようになる。自分たちが常に見守られているという意識を持つと、子どもたちはぐんと近付いてきてくれました。また、共に活動をしてきたPTA役員・会員の皆さんの連携が素晴らしく、常に楽しく行事を行なうことが出来ました。今年度の後半のPTA行事を振り返ってみると、通学合宿、バザー、給食試食会、音楽発表会と続きました。企画をする運営委員会では、役員から出た様々なアイデアが膨らんで、それぞれが興味のある、あるいは得意なところを分担して準備していききました。四年生から六年生の希望者が参加した通学合宿はモノづくりをテーマにプログラムを組みました。PTAバザーでは子どもたちが企画運営するブースを設け、提供品販売や飲食販売などでもたくさんの収益となりました。音楽発表会では「ともえの歌」など3曲を披露。合唱隊に加えて得意な楽器や着るなどで盛り上げてもらいました。年間を通じた各委員会の事業も含め、皆さんの想いの詰まった行事を実施できた一年であったと思います。もちろんこれらの実行にあたって、先生方にも多大なるご協力をいただきました。この場を借りて、皆さんにお礼をさせていただきます。そしてもう一つ、地域の皆さんの温かなサポートを数多く目にすることができたこと。江尻は古い歴史のある地区で、しっかりとしたアイデンティティを持っています。コミュニティ・スクールが導入されて、子どもたちがその深い地域性に触れていることは、かけがえない財産となることでしょう。



#### 江尻おやじの会

沼田英年



「むしちのおんがくかい」  
冬は恒例行事となり「えじりおやじの会」のクリスマスイルミネーション、4回目を迎えます。今年は、さらにパワーアップして江尻小の夜を彩ることを目指しました。ご協力いただきました先生方、保護者、地域の皆様、感謝いたします。  
「江尻っ子の笑顔のために」今後もおやじの会にご期待下さい。  
おやしめんバーも随時募集中です。

今年度の秋の掲示は「むしちのおんがくかい」という絵本を題材に制作しました。毎年秋の掲示の準備をしていると、音楽発表会の練習の音色が図書室まで届きます。初めはパラパラだった演奏ですが、日に日に子どもたちの気持ちがひとつになり、素晴らしいハーモニーを奏でていきます。子どもたちの成長を感じながら、わたしたちは楽しく作業させていたいです。  
今年度は図書室の入口のディスプレイにも挑戦しました。  
夏は海、秋はハロウィン、冬はクリスマスと、季節ごと図書室の模様替えをしていきます。これからも楽しみにしてくださいね!来年度も子どもたちをひきつける図書室を目指して、楽しく活動していきたいと考えています。興味のある方はぜひ一緒に活動してみませんか?

#### ブックボランティア

代表 中川美佐

江尻小学校が静岡市初のコミュニティ・スクールの指定に向けて活動を始めたのが平成二十四年度。それから四年がたちました。この四年間の変化についてご紹介します。  
「わたし、孫ができたみたいで嬉しいんですよ」突然、あるお年寄りから声をかけられました。話を聞くと、どうも四年生が行っているS型サイバービス訪問で、訪問を受けているお年寄りのようでした。「いろいろ遊びを考えてきてくれて、みんな可愛い孫です。」朝、会社への通勤途中のことです。通学路で地域の方が家の前に立ち、子どもたちに挨拶をしています。「おはよう」「おはよう」「いってらっしゃい」そんな挨拶が交わされています。ふと、周りに目を向けると、「どこでどこで地域の方が家の前で子どもたちに声をかけてくれてます。」  
ある家庭でのお話です。その家では、子どもがお味噌汁が苦手だと言って、いつも具だけを食べて汁を残していたんだそうです。そんなある日、「お母さん、一緒に行ってほしいところがあるんだ」そう言うので、その子はお母さんを連れて、あるお店に行きました。そのお店は地元商店街のお店で、昆布や手作り味噌などを販売している乾物屋さんです。「この前の授業でいろいろと教えてもらったんだ、この昆布はすごいこだわりがあるんだよ」そう言うと、店主に、「おじさん、うちのお母さんにも教えてあげて」そこで、その店主は、出汁をとることの良さや出汁の取り方について、そのお母さんに伝え、そのお母さんは、出汁用の昆布と手作り味噌を買って帰りました。  
次の日、いつも汁を残していた子どもが、お

### コミュニティ・スクール委員会

#### 江尻小コミュニティ・スクール

CS委員長 兼高光清

### 江尻っ子\*通学合宿

H27.9.24~H27.9.26



通学合宿について  
通学合宿特別委員長 海野 哲矢  
今年の通学合宿は九月二十四日、二十五日、二十六日の二泊三日で行いました。メインプログラムは、子どもたちの主体性をサポートしたいと思い、十月に行われたPTAバザーで売るものを子どもたちが作り、子どもたち自身で販売するという新たな試みを行いました。また、コミュニティ・スクールという取り組みもあり、地域とのかわり合いを持つために、同地区の社会福祉施設「はーとびあー」のお風呂に入りに行きました。お風呂では、地域の年配者に叱られるという貴重な経験も出来たようです。  
参加した子どもたちの協力と、快く施設を貸し出してくれた江尻学習交流館と「はーとびあー」の職員皆さん、ご理解しサポートしていただいた先生方、またボランティアとして参加いただいたご父母、PTA役員、PTA役員OB等に支えられ、今年度も無事に終えることができました。

二年間の役員を終えて  
江尻小学校PTA副会長 本多裕子  
私にとってこの二年間はあつという間でした。でも、それは、とても充実していたからだと思えます。PTA副会長という重役を引き受けた時は、不安な気持ちでいっぱいでしたが、先生方のご指導や他の役員の方が、居てくれたから頑張れました。仲間(友だち)というのは本当に大切ななあと、実感しました。感謝の気持ちでいっぱいです。  
ありがとうございました。

◆お知らせ◆  
自主学習ノートについて  
本年度当初に配布された「家庭自主学習ノート」ですが、来年度は違った形で活用する予定です。お手元に準備しておいて下さい。  
江尻っ子 家庭学習 ノート  
江尻っ子 家庭学習 ノート

味噌汁を美味しいと言ってお代わりをしたんだそうです。後日、そのお母さんが私に嬉しそうに話をしてくれました。  
わたしがこれまでの活動や体験を通してみなさんにお伝えしたことは、「コミュニティ・スクールとは、これだというものがあるわけではなく、一種の空気みたいなものだということです。子どもたちを包む空気、学校を包む空気、そして地域を包む空気です。その空気がコミュニティ・スクールを導入することで変わるということです。」  
今、子どもと一緒に育てようという空気が江尻を包んでいます。そして、学校の先生方は、積極的に地域の資源を活用したり、子どもたちを地域に出し、学校の中だけでなく、地域で学ぶということを行っています。地域に助けられるだけでなく、子どもたちが地域のために何かできないか、そういったことも日々考えています。そんな、先生方を取り巻く空気も変わってきています。  
そして、もっとも変わったのが子どもたちです。これまでどおらかという受け身であった子どもたちが自ら課題を持ち、進んで様々な活動を行うようになりました。今年は、昨年から行っているS型サイバービスへの訪問に加え、巴川の清掃活動、清水銀座再生プロジェクトなど、学校の教室から地域へ飛び出し、まさに活きた社会勉強を行っています。  
PTAとして、具体的にコミュニティ・スクールでこれが出来たというものはありません。ですが、これまで同様、PTAの活動を通して、地域と子どもが学校を媒体としてつながり、社会性をもった子どもが大人になり地域を支える、そんな地域循環ができる社会が実現できるよう今後とも支えていきたいと考えています。

# 音楽発表会

H27.11.14



1年生・・・春夏秋冬を歌と合奏で表現、お面に描かれた絵も素敵でした。

2年生・・・国語で理解を深めた、スイミーの見た希望を音楽劇で表現。レオ・レオニの作品の世界観が広がりました。



## ひびかせよう！ 江尻っ子のおもいをのせて

3年生＊合奏『アンタカセッ記』  
難しい曲ですが堂々と演奏をしている姿が頼もしく思えました。



たんぼぼ＊清水の名曲『港かっぱれ』  
一人ひとりがバチを握り太鼓演奏を披露



☆PTA  
☆歌のプレゼント☆

4年生＊合奏『まつり』  
迫力ある演奏に気持ちごとくたがりました。



みんな  
輝いていたね！



6年生＊合唱『約束』  
繊細で美しい歌声に感動しました。



5年生＊合唱『いのちの歌』は音楽交流会でも披露  
歌詞のもつ意味に思いを込めて表現、目頭が熱くなりました。



## 巴きら コミュニティ・ スクール を活かした 総合的な学習

次々と新たなチャレンジ  
に取り組んでいます！



巴川清掃活動

自分もみんなも笑顔になるう



車いす体験



学区のためになる提案書作り



お店アピール  
大作戦



賑やかに楽しい銀座作り



銀座のベンチをペイント



江尻の原風景写真展

一月二十四日  
えじりおやじの会主催  
走り方教室 コーチ＊黒柳欣則  
寒中たくさんのご参加ありがとうございました。以前から走り方教室開催のご要望を頂いており、無事終了の事ができ安心していきます。三つの事を大事に繰り返し走ってもらえたら嬉しいですね。  
①姿勢正しく②腕を振る③足を前へ  
コーチ陣も「子どもたちやご父母の方が楽しそうに走ってくれたのが良かった」と言っており、また、ご父母の方々は、「楽しかった！また、開催して下さい」という嬉しいお言葉を頂きました。次回開催の時も宜しくお願いします。尚、この教室は二月の清水マイニチにも詳しく掲載されました！



PTA活動

学級厚生委員長

委員長 齊藤 寛子

私は役員に就任するまでは、PTAを他人事と捉えていました。しかし、運営側となり江尻っ子の為に様々な活動に参加し、先生方と協力し合い自主的に関われた事に感謝しております。

子どもたちの笑顔が増え、コミュニティ・スクールとして更なる江尻地区の発展を願います。一年間ありがとうございました。

事業委員会

委員長 高橋 信

去る十月二十五日(日)、恒例江尻小バザーが行われました。秋晴れの下、大勢のお客さんを迎え、大盛況の内に終わりました。学校のため、子どもたちのため、力を合わせ頑張る先生方、父母の姿に、江尻の素晴らしさを再認識させられました。その姿こそが、子どもたちの心を育むことでしょう。

皆様、ご協力ありがとうございました。



バザーの売り上げは 645,321 円でした。ご協力に感謝いたします。

地域委員会

委員長 早川 千春

日頃の旗振り活動や子どもたちの登下校時の見守りにご協力頂きありがとうございます。「交通安全リーダー」と語る会」で皆様や子どもたちから積極的に出でて頂いた危険箇所についてのご意見・ご要望から、少しずつでも通学路の改善がされた例がありとても嬉しく思います。引き続き子どもたちのために良い環境を整えていきたいですね。



雨の日の旗振りもがんばっています！



江尻っ子じまんの元気な挨拶間かせてね！

保健体育委員会

委員長 山田 忍

給食試食会には、多くの保護者の皆様に参加して頂き盛り上がり、また、天野先生から給食の残量を減らす活動に取り組んでいる子どもたちの貴重なお話をうかがう事ができました。大きさは様々ですが、感動を共有する素晴らしさに感激を覚えた一年でした。保健体育委員と運営委員の皆様のご協力とお人柄に感謝いたします。ありがとうございました。

H27.10.22 給食試食会



母親委員会

委員長 黒柳 正子

一年間を振り返ってみると、始めの頃は不安を抱えながら研修なども参加していましたが、各学校の方も同じ環境で同じ気持ちでやられているんだなあと、活動を通してわかりました。多くの方々と交流することが出来、楽しく充実した一年となりました。

家庭教育学級

副学級長 杉山陽子

家庭教育学級では、十二月十一日「整理整頓、お掃除講座」がありました。講師の山岡栄先生は、整理整頓アドバイザーなどの様々な資格をお持ちの先生で、とても生活に役立つお話をしてくださいました。普段の片付けや掃除の悩みに一人一人に回答してくださいましたので学級生の皆さんも参考になったと思います。私も物を増やさない生活を心がけようと思えました。

年末にふさわしいお話が盛り沢山の講座となりました。ご参加ありがとうございました。

家庭教育学級公開講座

十月三十日

講演テーマ 怒らないしつけ

講師 スクールカウンセラー 川島多美子 先生

子どもが育つ過程で昔は地域の人が一緒に育ててくれた中で社会性が自然に身についていた。現在では、困難な事に遭った時に、自信がなく、不安で、誰にも相談できない子どもも多く存在します。そうならない為には、まず、子どもの心に寄り添いましょう。具体的には子どもが話し始めたら3分間だけは家事・スマホなどを止めて、話を聞いてほしいのです。



続けることで安心感を与え、生活の中での言葉を育てる事に繋がります。また、叱ることは時には大切で、親子の関係が出来ていれば効果がある。とも、お話をされました。

十一月四日 本気で学、心で育、子どもの育成

コーディネイター・スクールを活かした探究学習

講師 文教大学教授 嶋野道弘 氏

学びというのは内容を理解するだけでなく、自分自身の変化や成長を実感する事だと述べられました。また、思考というのは見えにくいもの。僕は「考えなさい」とよく言うが、言ってみれば「考える」とは「比べる事、仲間に分ける事、順位付ける事、関係付ける事です。それを形に表したものが、思考ツールです。ツールというのは出来上がった物が沢山あり効果的に使うべきです。江尻小では、先生自身が創意工夫して、この活動をいかに有効にするかを考え、新たなツールを作り出すというクリエイティブな方向に変わってきました。と、二年生の大根の成長を表にした物を事例に挙げて、お話になりました。



PTA広報誌コンクール優良賞を受賞

前年度広報委員長 川口 芳子

静岡市PTAの広報コンクールで優良賞を受賞出来て嬉しいです。江尻地区の皆様温かさが伝わる広報誌になったと思います。ご協力していただいた皆様、一年間一緒に広報委員をしてくれた、大澤さん、佐藤さん、笹原さん、高橋さん、大瀧さん、ありがとうございます。

編集後記

広報誌発行にあたり、ご協力を頂きました皆様へ感謝致します。

- 1年 望月裕子
- 2年 杉山幸代
- 3年 渡部みき
- 4年 石橋紀子
- 6年 川村信代

- 広報委員長 高橋優子
- 担当職員 鈴木寛輝先生



えじり 26年度3月発行 No.154